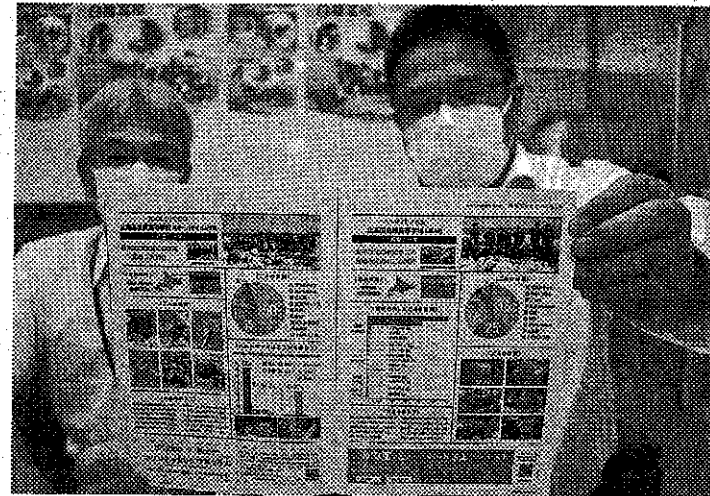


白糠高生の取り組み 雑誌に 太平洋のごみ収集、調査

【白糠】高校生向けの月刊フリーマガジン「ch FILES」の特別号「海と日本PROJECT・CHANGE FOR THE BLUE」に白糠高校（田村信明校長）の1年A組が取り組んだ海洋ごみ調査研究活動が紹介された。

同号タイトルのプロジェクト「海の未来を変える挑戦」は、日本財団などが推進しており、海の環境問題への意識を社会全体で高めることを狙いに、海洋ごみの削減モデルを国内外に発信するもの。研究活動はその一環で道内を都市（河川敷）、オホーツク海、太平洋、日本海の4エリアに分け、同エリア内の代表校によって行われた。

太平洋エリアは白糠高校が担当し、白糠漁



特別号の白糠高校の取り組みが
載ったページ

協女性部と協力して7月に和天別川河口付近のごみを集め、材質や種類などに分けて集計した。上内智英地域教育コーディネーターは「今後も独自に漁協と連携して漂流ごみを調査したい。経年的な量の変化も見られたら」と話していた。特別号は全国の高校図書館や同誌のサイトで閲覧できる。

（水谷友路）